

遊佐町教育委員会だより

令和4年12月15日

問合せ ☎ 72-5891

ふるさとを愛し、未来を拓く。



～大人もともに学び、子どもたちに夢を～

令和4年度に実施した全国学力・学習状況調査において、「毎日朝食を食べている児童生徒の割合（食育・生活リズム）」では、小学6年生で96.1%、中学3年生では97.0%と全国平均より高い結果でした。

11月3日(木)には「早起き・朝ごはん・躍動・早寝」の標語優秀作品表彰式が行われました。「目が覚めて 期待ふくらむ いいにおい」（青少年育成協議会長賞、吹浦小5年菅原鈴さん）の作品から、「躍動」のスタートとなる家庭での温かい雰囲気を感じ取ることができます。

昨今、若者が活躍する少年議会活動や中高生ボランティア活動などの社会参加活動を核に、家庭や地域の大人も一緒になって進めている躍動の姿が多くみられます。

本町の教育の基本目標は、「ふるさとを愛し、未来を拓くいのち輝く町民の育成」です。今後も、私たち現場で関わる大人もともに学び、その姿を示しながら、家庭や地域全体で「いのち」輝いて生きる子どもたちの夢を育んでいきたいと願っています。

～第61回遊佐町民俗芸能公演会が開催されました～

10月23日(日)に遊佐町生涯学習センターにおいて、令和元年度以来3年ぶりに第61回遊佐町民俗芸能公演会が開催されました。新型コロナウイルス対策を踏まえながらの開催により、これまでより規模を縮小し、杉沢比山連中、蕨岡延年の舞保存会、吹浦田楽保存会、横町神代神楽保存会の町内4団体と、招待団体として鬼首神楽保存会（宮城県大崎市・旧鳴子町）の計5団体による出演となりました。

新型コロナウイルスの影響とは言え、ステージ上での舞の魅力をお客席で堪能できる公演会の開催を2年連続して見送るだけでは終わらせまいと、昨年度はYouTube「遊佐町公式チャンネル」にて各団体の演舞の動画を公開し、民俗芸能の魅力の発信を新たな手法により展開してきました。

先人から受け継いできた地域の宝である民俗芸能を保存・伝承していくために、民俗芸能公演会の開催、YouTubeでの動画公開による民俗芸能の魅力の発信を今後も継続し、幅広い世代への周知を図っていきます。



横町神代神楽

更なる飛躍を誓って 新たな歴史の第一歩を

～各小学校で閉校式～

新小学校開校に伴い、10月15日(土)から12月3日(土)にかけて各小学校で閉校式が行われました。

令和5年4月1日からは、現在の遊佐小学校の校舎を利用して、新生『遊佐小学校』として開校します。全校児童455名（令和4年12月1日現在見込み）とともに、5校の歴史を受け継ぎながら、新たな一歩を踏み出します。

蕨岡小学校（門崎由紀校長：児童数64名）は、明治43年に蕨岡尋常高等小学校として開校し、昭和29年に遊佐町立蕨岡小学校に改称されました。平成2年に創立80周年記念事業でファンファーレバンドが結成され、その後、マーチングバンドとして、県大会や全国大会で、数々の賞を受賞しました。民俗芸能保存活動が盛んな地域であり、国指定文化財の杉沢比山については「比山体操」として継承してきました。



校長から町長へ校旗返納



代表児童あいさつ

遊佐小学校（菅原覚校長：児童数178名）は、明治42年に遊佐尋常高等小学校として開校し、昭和22年に遊佐町立遊佐小学校に改称されました。読書活動では「読書活動推進学校」として平成25年に文部科学大臣表彰を受賞し、PTA活動においては学校・家庭・地域が一体となったキャリア教育や読み聞かせなどの活発な活動が認められ、平成28年に優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しています。

藤崎小学校（富樫由紀子校長：児童数102名）は、平成26年に西遊佐小学校と稲川小学校が統合し開校しました。両校の長い歴史と輝かしい伝統を引き継ぎながら地域性を生かした教育活動が行われました。特に「西通川」に関する学習発表や佐藤藤蔵祭・戴邦碑祭への参加、緑の少年団活動やいなほ学園での稲作学習等を通して、自然や文化、先人の生き方を学び、ふるさとを愛する心を育くんできました。



閉校記念碑の前で

高瀬小学校（大塚優校長：児童数80名）は、明治7年に当山村常恩寺に設立された常恩学校がその始まりで、昭和29年に遊佐町立高瀬小学校に改称されました。特色ある教育活動として、総合的な学習の時間において、郷土の偉人佐藤政養や高瀬八景・鮭孵化事業など、地域との深い協力の絆のもとで子どもたちが地域の自然や文化を積極的に学んできました。



参加者全員で記念撮影



全校児童による校歌合唱

吹浦小学校（梶原勝校長：児童数73名）は、明治7年に吹浦学校として開校し、昭和29年に遊佐町立吹浦小学校に改称されました。アマハゲ、神代神楽、吹浦田楽、小山崎遺跡等の歴史的な遺産・文化との関わりが深く、また、牛渡川での湧き水や生き物調査等、地域の素材を生かした学習活動を通して、地域の自然や文化を積極的に学び、ふるさとを愛する心を育んできました。

〈統合新小学校の児童数・学級数見込み〉

（令和4年12月1日現在）

学 年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
令和5年度	人数	64	81	77	75	79	79	455
	学級数	2	3	3	3	3	3	17
令和6年度	人数	79	64	81	77	75	79	455
	学級数	3	2	3	3	3	3	17
令和7年度	人数	68	79	64	81	77	75	444
	学級数	3	3	2	3	3	3	17

新小学校開校準備も着々と ～遊佐町立小学校新校開校準備委員会より～

- 遊佐小学校の北側町道拡幅工事、駐車場整備工事、増築校舎の外構工事を進めています。
- 遊佐小学校の昇降口、高学年棟トイレ改修工事が完成しました。
- 町の各小学校間の交流学习を行っています。
- 校歌の制定、校旗の作成を進めています。
- 見守り隊、放課後の居場所づくりの方向性を決定しました。



新小学校の校旗

11月14日（月）にスクールバスの乗車練習を実施しました。地域の皆様、見守り隊の皆様、ご協力ありがとうございました。



スクールバスの乗車練習

遊佐中3年生対象の「学習支援塾」がスタート！

遊佐中3年生を対象にした「学習支援塾」は、講師（地域の先生方）に質問したり、生徒同士が教え合ったりしながら自主的に受験勉強する遊佐町教育委員会主催の学習会で、5年目を迎えています。

今年度は9月下旬から2月下旬までの土曜日の午前に15回、生涯学習センターを会場に実施予定で、7月に募集を行ったところ43名の生徒が手を挙げています。

9月24日(土)の開塾式で教育長・校長先生から激励のあいさつをいただき、事務局と11名の数学・英語の講師の紹介の後に、第1回学習支援塾がスタートしました。塾終了後、講師から「生徒が意欲的に取り組み、学ぶ楽しさを実感している様子が何われ、今後の取り組みが楽しみ」等の感想をいただき、頼もしさを感じています。

遊佐町の未来を担う若人に応援をよろしく願います。



互いに学び合う遊佐中生

遊佐町少年議会議が「ゆざマルシェ」を開催！

遊佐町少年町長・少年議員公選事業は、今年度で第20期目を迎えました。これまでの活動では、町のイメージキャラクター「米〜ちゃん」を募集し、選考・決定したことなどはじめ、JR東日本への要望書・陳情書の提出、若者の居場所づくりのためのスタディースペースの開設等を実現しました。

今年度の政策は、「ゆざマルシェの開催」と「遊佐町特産品開発」です。11月6日(日)に政策の一つである「ゆざマルシェ」を開催しました。「若者向けの遊佐町の商品を、もっと若い人たちに知って欲しい」というコンセプトのもと、若者を中心に大きな盛り上がりを見せていました。マルシェの周知のためにメンバーで作ったチラシを学校で配り、出品いただくお店へ出向いて取材をするなど、販売するだけでなく商品の魅力を多くの人に広めることができました。

当初の目的を達成することができ、今後の若者目線での政策実現に向けて意気込みを新たにしました。



大盛況の「ゆざマルシェ」